

伊東 宣明 個展『アートと芸術家』開催のご案内

展覧会名：伊東 宣明 個展『アートと芸術家』

会 期：2016年11月26日（土）～12月25日（日）

- ・会期中は、月曜 17～23時、木・金・土 12～19時、日 12～18時のオープンとなります。
- ・本展のオープニングレセプションを、初日の11月26日（土）18～21時に開催します。作家も在廊いたします。
- ・なお、初日も通常通り12時からオープンいたします。

会 場：WAITINGROOM（東京都渋谷区恵比寿西2-8-11 渋谷百貨ビル4B）

WAITINGROOM（東京）では2016年11月26日（土）から12月25日（日）まで、伊東宣明 個展『アートと芸術家』を開催いたします。当ギャラリーでは初の個展となる伊東は、「身体」「生/死」「精神」といった生きるうえで避ける事のできない根源的なテーマを追求し、映像やインスタレーション作品を発表しているアーティストです。本展では、作者本人の背景に多くの名画やアート鑑賞をする人々などを映し出し、「アートの本質」について自画撮りで語る映像作品《アート》と、[普通の女の子か芸術家か決めかねている]一人の女性が、日本企業の自己啓発的の新人研修の方法を用いて芸術家の名言によって作られた「芸術家十則」を絶叫する事により、やがて「芸術家になる」と宣言するまでの過程を、虚実が入り乱れたモキュメンタリー/ドキュメンタリー手法で捉えた映像作品《芸術家》とそのドローイングを主軸に展示いたします。



《アート（日本Ver.）》2015年、シングルチャンネルビデオ、サウンド、10min.5sec.



《アート（スペインVer.）》2015年、シングルチャンネルビデオ、サウンド、10min.5sec.

作家・伊東宣明について

1981年奈良生まれ、奈良在住。2006年に京都造形芸術大学・映像舞台芸術学科・映像芸術コースを卒業、2016年に京都市立芸術大学大学院・美術研究科博士後期課程修了、博士（美術）学位を取得。近年の主な展覧会に、個展『アート』（愛知県美術館 APMoA Project ARCH、名古屋、2015年）、グループ展『GRAVEDAD CERO』（Matadero Madrid、マドリッド・スペイン、2015年）、個展『芸術家と預言者』（HAGISO、東京、2014年）、『牛窓・亜細亜芸術交流祭 - 瀬戸内市美術館』（牛窓シーサイドホール、岡山、2014年）、グループ展『Me'tis -戦う美術-』（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、京都、2012年）、グループ展『レゾナンス 共鳴 人と響き合うアート』（サントリーミュージアム、大阪、2010年）など国内外多数。

↓<次頁> 展覧会について (つづき)

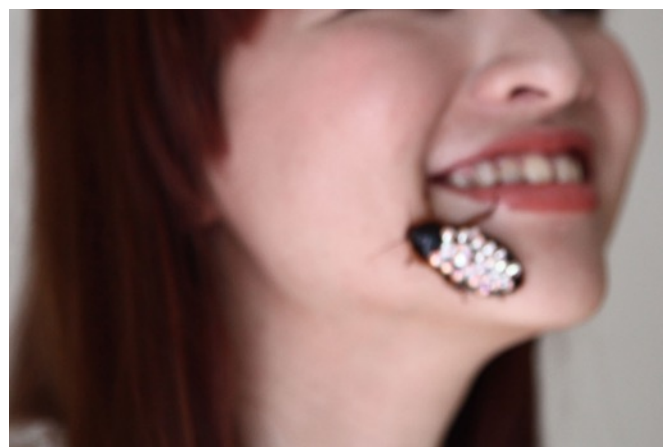
私達は一体「何を」信じて、それをアートと呼んでいるのか？

本展では、「アートとは何か」という問いをめぐる2つの映像作品《アート》と《芸術家》を展示いたします。

《アート》では、全国各地の美術館や野外作品を背景に「アートとは何か」を語る伊東自身の姿が映し出されます。アートの本質はどこにあるのか、理想的なアートの在り方とは何か。承認欲求から制作された作品はすぐに消費されてしまうが、作品を超えた先にある「X」、つまり人間が到達することのできない理想を追い求めることこそが「本当のアート」なのだと伊東は語ります。同時に、淡々とした語りの合間には時折こちらのウケを狙うようにおどけたり声を荒げるシーンも挟み、自撮りの映像を繋ぎ合わせたその様子はまるでSNSに投稿された動画を彷彿とさせ、そこには語りの内容との矛盾が生じていきます。アーティスト自身が撮り撮られる役を演じることで、言葉が次第に現実と虚構の間をさまよっていきます。愛知県美術館での個展で発表されたこの《アート（日本Ver.）》に、スペイン・マドリードでのレジデンスで制作した《アート（スペインVer.）》が加わり、2チャンネル形式で発表されるのは、国内では今回の個展が初めてです。台詞はほとんど変えずに国を変えて、スペインの名画やアートを取り巻く環境などを背景に再度撮影されたスペインバージョンと日本バージョンを並べて同じ空間で同時再生することにより、どちらも被写体はアーティスト自身であるものの、状況により差異が生まれ、「アート」を取り巻く二カ国の状況、さらには歴史をも浮かび上がらせる構造になっています。

《芸術家》は、美大を卒業し、普通の女の子として生きるか芸術家として生きるか決めかねているという一人の女性を主人公に、芸術家の名言によって作られた「芸術家十則」を絶叫する訓練を行うというモキュメンタリー／ドキュメンタリー作品です。日本企業の新人研修の方法になぞらえた、「芸術家十則」を大声で叫びつづけるというコミカルな設定から、実際にその行為を繰り返すうちに、洗脳のように熱を帯びて取り組む女性の姿が描かれます。芸術家とはこうあるべきという指針の繰り返し、逆説的に「芸術家とは何か」という問いを浮き彫りにしていくと同時に、その反復作業は言葉を少しずつ意味をもたないものにしていきます。しかし最後には達成感を感じたように満足した笑顔で、「芸術家になる」と宣言するまでに至ります。「アート」が先か、「アーティスト」が先か。そして「芸術家とは何か」という問いは「自分は何者なのか」という普遍的な自意識への問いにもつながっていきます。

「身体」「生／死」「精神」といった生きるうえで避ける事のできない根源的なテーマを追求し、表現方法を特定せずに観客にそれらを強く「実感」させる表現方法を採用している、と伊東は言います。伊東はこれまでも、映像における演じ／演じられる関係性を意図的に利用し、虚実の入り混じる作品を制作してきました。今回発表する2つの作品の描き方も、映し出される行為や言葉の正体がどこにあるのか、画面に映るリアル（現実）のゆがみが、根源的なテーマを実感させ鑑賞者を揺さぶります。映像の虚実性の中で実験的な試みを続ける伊東作品を、この機会に是非ご高覧ください。



(左・右) 《芸術家》2013-2014年、シングルチャンネルビデオ、サウンド、35min.

伊東 宣明 Nobuaki ITOH

1981年 奈良県生まれ
奈良在住

学歴

2016 京都市立芸術大学大学院美術研究科 メディア・アート専攻（博士後期課程）修了・博士(美術) 学位取得
2009 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 絵画(造形構想)専攻（博士前期課程）修了
2006 京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科 映像芸術コース 卒業

個展

2015 動物（習作）- アートスペース ゼロワン（大阪）
アート（AM Ver.）- アンテナメディア（京都）
アート - 愛知県美術館（愛知）
2014 0099 - 海岸通ギャラリー・CASO（大阪）※Itoh+Bak名義による個展
芸術家と預言者 - HAGISO（東京）
2013 芸術家 - アンテナメディア（京都）
2011 預言者 - 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA（京都）
2010 回想の遺体 - 立体ギャラリー射手座（京都）
2009 1+1=1 - 立体ギャラリー射手座（京都）
短編 - 海岸通ギャラリー・CASO（大阪）
2008 1+1=1 - 海岸通ギャラリー・CASO（大阪）
幻視者/質問者と演者 - ギャラリー16（京都）
2007 BODY SOAP - 立体ギャラリー射手座（京都）
2004 delusive skin - 立体ギャラリー射手座（京都）



《芸術家十則ドローイング》2013-2014年、展示風景（Antenna Media、京都）
紙、鉛筆、インクジェットプリント

主なグループ展

2016 S-HOUSEミュージアム開館記念展 - S-HOUSEミュージアム（岡山）
2015 GRAVEDAD CERO - Matadero Madrid（マドリード・スペイン）
学園前アートウィーク 2015 - 浅沼記念館（奈良）
Still moving @KCUA - 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA（京都）
2014 牛窓・亜細亜藝術交流祭 - 瀬戸内市美術館・牛窓シーサイドホール（岡山）
Hairy Soy Source, Soap and Ten Statements for an Artist - MIACA（香港）
egØ - 「主体」を問い直す - punto（京都）
2013 超京都2013 - 平成の京町家モデル住宅展示場KYOMO（京都）
ニュー・ブランシュ KYOTO2013 - 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA（京都）
岐阜 おおがきピエンナーレ2013 - 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]（岐阜）
美意識の変容 - 大阪市中央公会堂（大阪）※シンポジウムに伴うグループ展
2012 Transmit Program#3《Metis -戦う美術-》 - 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA（京都）
2011 DONATIONS! 東日本大震災被災地のために - GURA（京都）
2010 わくわくKYOTO - 元立誠小学校（京都）
スモールミュージアム2010 - ギャラリー揺（京都）
レゾナンス 共鳴 人と響き合うアート - サントリーミュージアム（大阪）
2009 NONAME -KYOTO - 旧立誠小学校（京都）
NONAME -YOKOHAMA - 横浜ZAIM（神奈川）
京都市立芸術大学制作展 第3会場 -学内展- - 京都市立芸術大学構内（京都）
2008 芸術系大学作品展2008~ART UNIV.2008~ - 元立誠小学校（京都）
京都市立芸術大学制作展 第3会場 -学内展- - 京都市立芸術大学構内（京都）
2007 第10回岡本太郎現代芸術賞（TARO賞） - 川崎市岡本太郎美術館（神奈川）
四条ストリートギャラリー - 中央三井信託銀行（京都）
2006 S T A I R S - 海岸通ギャラリー・CASO（大阪）
映像芸術コース卒業制作展 - ギャラリーRAKU（京都）
2005 F R A M E PLUS Hisao MATSUURA - 海岸通ギャラリー・CASO（大阪）
2004 京都アートアニュアル - 京都造形芸術大学・高原校舎（京都）

ビデオスクリーニング

- 2016 Screening 'Melting Point'+TEGAMI Project from Hamburg - The Third Gallery Aya (大阪)
Melting Point - FRISE (ハンブルク・ドイツ)
Tokyo Lift-Off Film Festival 2016 オフィシャルセレクション - UPLINK (東京)
- 2015 13e Festival international Signes de Nuit :フォーカスジャパン - Maison du Japon (パリ・フランス)
イメージフォーラム・フェスティバル2015 (東京・京都・愛知・福岡・横浜) ※招待作
- 2009 ナレーションの新しいデザイン - イメージフォーラム・シネマテーク (東京)
- 2006 語り派-ストーリーテリングの実験 - イメージフォーラム・シネマテーク (東京)
- 2005 ヤング・パースペクティブ2005 - イメージフォーラム (東京)
- 2004 BIWAKOビエンナーレ - トキワ館プロジェクト トキワ館 (滋賀)
ビデオ・サーカズム - 関西ドイツ文化センター (京都)

受賞歴

- 2012 群馬青年ビエンナーレ2012 入選
- 2009 京都市立芸術大学制作展 奨励賞
- 2007 第10回岡本太郎現代芸術賞 (TARO賞) 入選
- 1999 (小説) 文藝界新人賞 最終選考候補作

アーティスト・イン・レジデンス

- 2015 トーキョーワンダーサイト 平成27年度二国間交流事業プログラム (マドリード・スペイン)

展覧会図録

- APMoA Project, ARCH vol.13 伊東宣明『アート』プロシャー、2015年2月、愛知県美術館
『岐阜おおがきビエンナーレ2013<カタログ>』2015年1月、情報科学芸術大学院大学[IAMAS]
『document ego』2014年4月、ego展記録冊子委員会
『京芸Transmit Program #3 Metis - 戦う美術 -』2012年5月15日、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
『レゾナンス 共鳴 人と響き合うアート』2010年4月、サントリーミュージアム[天保山]

パブリックコレクション

S-HOUSEミュージアム、岡山

アーティスト・ウェブサイト

<http://nobuakiitoh.com>



《アート (日本Ver.)》2015年、シングルチャンネルビデオ、サウンド、10min.5sec.

※本展に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

WAITINGROOM (代表: 芦川朋子)

住所: 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-11 渋谷百貨ビル 4B

営業時間: 月 17-23時・木金土 12-19時・日 12-18時

Tel&Fax: 03-3476-1010 Eメール: info@waitingroom.jp

Web: <http://waitingroom.jp>